



かかりつけ医の役割

11月14日在宅医療推進フォーラムという研修会に参加しました。メインは佐藤伸彦先生の講演～住み慣れたまちで生きる～でしたがそれは私にとってとても心地よい時間でした。

佐藤先生は富山県砺波市(となみし)で砺波サンシャイン病院に勤務。「家庭のような病院を」と病院でありながら患者さん一人一人の人生に目を向けた診療をされました。

退職後市内に2カ所の診療所を開設し、山間部にある人口300人の庄東地区で古民家を改修して平成23年に「ものがたり診療所庄東」を開業されました。

佐藤先生の講演では「生命体としての命をものがたれるいのち」

ふたつの視点から医療と地域と生き方についてお話されました。

そこには支心が目指して掲げる「人生をあきらめない」と通じ合える心を感じました。

お誘い頂いて夜の懇親会にも参加させていただきました。

人が生きるということ、人としての務め、医者としての役割、地域の大切さなど二人でいろいろお話をしました。表現も仕事の仕方も違いますが支援として医療を考える目線は同じで、ともにわかり合える先生でした。

今の悩みも打ち明け、これから進むべき道を話し合いました。

とても力強い援軍を得た気分です。3月末には「函館で会いませんか?」のお誘いに二つ返事で「はい、是非。」と答えてしまいました。(というわけで3月末には数日お休みを頂きます。)

その時、秋田県に佐藤先生と共鳴し、一緒にナラティブ活動をしている盟友がいるとお聞きしました。

新しい形のナラティブ活動の実践が始まろうとしていると教えていただきました。

先日、母校から外科の同門誌が届きました。私が医者になったばかりの頃お世話になった先輩のひとりがかつて釧路谷藤病院を手伝って下さったこともある伊藤伸一先生の投稿がありました。懐かしく読み始めるとそこには秋田での地域包括ケアへの取り組みが書かれていました。「ナラティブ秋田」佐藤先生の盟友とは伊藤先生でした。慌ててメールを送り3月に函館で再会する約束を交わしました。図らずしてかつて教えを頂いた先輩といつの間にか同じ道を歩いた事に、大きな驚きと喜びを覚えました。

支心とは支え合う心という意味です。それは互いに同じ立場の人間として互いに支え合い、互いに育て合うという意味です。私はこれまで多くの患者さんとご家族に導かれ、育てられてここまで来ました。皆さんに教えて頂いた数多くの事に中でも一番大切な事は、ただ命を助けても、生きている人のその人生の支援ができなければ医者としては不十分だということです。どう生きるかはどう死ぬかであり、どう死ぬかはどう生きるかです。そして今回、佐藤先生との会話で気づいた事は「どう生きているかより、どう生きようとしているか、どう生きたかよりもどう生きよう(努力)したか」が大切ではないかということです。最後まで人生をあきらめないで生きることの支援こそが私の目指すものです。それはどう生きようとしているかを最後まで支え続ける事です。

そして医者として「命といのち」を大切に、そのバランスを図り助言する役割が求められるでしょう。

佐藤先生が目指す「生き生きと、健やかに、安心して、みんな育てみんな支え合うまち」は「納得して、安心して、満足できるケアによって心穏やかに暮らす」支心の支援が目指すものと同じだと感じました。

同じ目標を掲げる仲間が居ると知った今回の研修は、私に力を与えてくれました。



今年もふわりで飯寿司を漬けました。今年は岩谷昌幸副所長が秋に釣った鮭で漬けたんですよ～。食べるのが楽しみです。



♡ 佐藤千紘さん結婚おめでとう ♡ そしてありがとう！

平成24年4月からふたば診療所の事務員として勤めてくれた佐藤千紘さん
今年1月に入籍し、夫婦の暮らしは始まっていましたが、けじめとして
11月7日にANAホテルで結婚披露宴を行いました。

現在彼女のお腹には新しい命が宿っています。
これからママになる準備をするために11月30日で3年半勤めてくれた
ふたば診療所を退職されました。事業立ち上げの厳しい時期を共に
ふんばってくれた彼女が去ってしまうのは大きな痛手ですが、
今まで我々に注いでくれた愛情を、今度は家族に注ぎ温かい家庭を
作ってくれる事でしょう。

佐藤千紘さん。今まで本当にありがとうございました。



<スタッフ紹介>

ふわり訪問看護ステーションの佐々木美香看護師に登場頂きました。
佐々木看護師は取得が難しいと言われる「緩和ケア認定看護師」の資格を持ち、
訪問看護ステーションでの経験も豊富な頼れる看護師さんです。
研修会にも積極的に参加されており、その姿勢には学ぶところが大きいです。



●●佐々木美香看護師からのメッセージ●●

寒い日が続いていますが体調を崩さずにお過ごしでしょうか？
ストレッチや軽い体操をして筋肉を柔らかくほぐして
転倒予防に一緒に頑張りましょう。



高桑所長(手前)
後ろで旗を振っているのは
息子さんです。

踊る訪問看護ステーション

「大人の女には別の顔がある。」そんな言葉を
裏付ける左右の写真をご覧下さいませ。
普段着ている制服を脱ぐと、この姿です。

高桑所長はよさこいソーランの踊り手で写真は
桜ヶ丘小学校の公開授業でよさこいの指導をした時の
ものです。ミナオドーレ釧路の代表を務めています。

太田看護師はフラダンスを長年踊っており、
この日のステージではフラの先生の隣でずっと
踊っているという重鎮ぶりでした。カッコイイ～！
ふたりともキラキラしてますね！！

太田看護師です。踊る姿は
いつもに増して美しいです。



<編集後記>

さあ、今年もカウントダウンに入っていますね。皆様はどんな1年を過ごされましたか？
個人的にも世の中全体を見ても良いことも悪い事もたくさんあったと思いますが、年末のクリスマスやお正月にご馳走を頂けるのは
やはりとても幸せな事だと、しみじみと感謝をしています。しばらくは寒い日が続きますからご自愛下さいね。
この通信を読んで下さっている皆様の来年が幸多き年となりますことをお祈り申し上げます。
今年もありがとうございました。来年も宜しく願い致します。 東

